



SGN News



第40号 2022年8月
滋賀グリーン活動ネットワーク
ニュース

～滋賀から「グリーン経済」をつくる～

グリーン購入シンポジウム2022 エネルギーのグリーン購入を考える ～自治体・事業者・個人が今できる事～

【会場(コラボしが21 3階大会議室)と オンライン(ZOOM使用)の併催】開催報告

プログラム

- 開会挨拶 秋山 道雄 (SGN会長)
- 基調講演 『どこから取組む? どうやって広める? 既存住宅の省エネ改修』
松尾 和也氏 (株式会社松尾設計室 代表取締役 APEC アーキテクト)
- 基調報告1 『実験集合住宅「NEXT21」から見える未来』
志波 徹氏 (大阪ガス株式会社 エナジーソリューション事業部)
- 基調報告2 『我慢しない家が家族と環境と健康を守る』
吉本 智氏 (ベストハウスネクスト株式会社 代表取締役)
- 質疑応答・ディスカッション
コーディネーター: 高橋 卓也 (SGN副会長・滋賀県立大学 環境科学部 教授)

- ◆ 開催日: 2022年6月2日(水)
- ◆ 参加者: 約84名以上



松尾 和也氏 志波 徹氏 吉本 智氏 高橋 卓也氏

滋賀県は2050年CO₂ネットゼロを目標に掲げ、目標達成に向けた取組を通じて持続可能な滋賀の実現をも目指す「CO₂ネットゼロ社会づくり」を県民総ぐるみで推進するため、2022年4月1日「滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例」が施行されました。地球温暖化による気候変動が引き起こした自然災害や健康被害、生態系への影響などが顕在化される昨今、温室効果ガスの排出を減らしていこうとする取組は世界中に広がっている一方で、そうは言っても何から始めたらよいのかわからないとお悩みの事業者様も多いのではないのでしょうか。そこで誰もが関わりのある『衣食住』の「住(住宅・建物)」について、そこにかかるエネルギーの観点から私たちの出来ることを考えました。

基調講演『どこから取組む? どうやって広める? 既存住宅の省エネ改修』松尾 和也氏

まずは電力供給のために、莫大な量の化石由来燃料を海外から輸入して、莫大な金額を支払っていることや、給湯器の一次エネルギー消費量について具体的な数字を挙げて比較し、電気温水器は即刻廃止すべきであるとダイレクトな表現で説明されました。また、省エネ化の一例として、居住形態としてマンション住まい増加は断熱の側面から見ると望ましいとのこと。後半では「どの家庭でも絶対にやるべき5項目」として、①窓の高断熱化、②床断熱補強、③給湯器交換、④ユニットバス化、⑤天井断熱補強を挙げ、それぞれの費用も具体的に説明していただきました。その中でも、簡易な内窓を自分で作る方法など、誰もがすぐに実践できる取組も紹介いただきました。最後に省エネ化の原則を6点挙げられたが、「無料でやれることはすぐにやる」「バックキャストが必須」といった手段は、グリーン購入を推進していく上でも共通原則であると感じました。

基調報告1『実験集合住宅「NEXT21」から見える未来』志波 徹氏

実験集合住宅「NEXT21」の紹介をしていただきました。1994年の施行当初より「省エネルギー・環境保全の両立」を目的として、時代に即したコンセプトを常に標榜しながら、実験を継続されているとのこと。建造物内を緑化することにより、ヒートアイランド現象低減効果が生じただけでなく、そこに営巣する野鳥も確認されたとのこと、生物多様性にも貢献していることがよく理解出来ました。

基調報告2『我慢しない家が家族と環境と健康を守る』吉本 智氏

温度と健康の因果関係について断熱の側面から説明されました。また、適切に断熱された住宅とそうではない住宅の違いを図で示され、「住宅の燃費=断熱」であると分かりやすく説明されました。住宅リフォームの事例紹介として、築100年以上の古民家再生の様子を写真で解説いただき、工務店を選ぶ際には、気密測定の実績がある業者に相談すべきといった具体的な実践方法も説明されました。

講演後のパネルディスカッションでは、高橋卓也SGN副会長のコーディネートで、会場とオンライン参加者からの質問への回答に答えるなど活発な議論が交わされました。

INDEX



- グリーン購入シンポジウム2022 1
- 研究会連携企画セミナー 2
- 滋賀グリーン活動ネットワーク「2022年度 事業計画書」... 3
- 2021年度中にご寄付をいただいた団体・個人の方々... 3
- 研究会紹介 4
- SGN正会員限定 チラシ同封サービスのご案内 ... 4
- グリーン購入実践プラン滋賀 には
[STEP1][STEP2]があるのをご存じですか? ... 5
- バナー広告募集中 5
- ごみゼロしが 滋賀県ごみ減量・資源化情報サイト ... 5
- SGN会員でつなぐリレートーク 金勝生産森林組合 ... 6
- 新規会員からひとこと 6
- 潮流「三方よしと県民総参加でフードエコ」を理念に食品ロス削減を
推進しています!「マザーレイクゴールズに込めた思い」 7
- 会員発工エコ商品情報 8

研究会連携企画セミナー

研究会連携企画セミナー、2021年度は2つの研究会が協働で開催しました。その概要を報告します。
(※所属等は開催当時のもの) ※いずれもZoom利用のオンライン開催

「生物多様性と環境・CSR研究会セミナー」

「生き物観察が社会インフラ整備に!? ～生き物調査アプリ『バイオーム』が 広げる企業CSR活動」

●2022年1月17日(月) 開催 ●参加者：約35名

基調講演1では、株式会社バイオーム 代表取締役 藤木 庄五郎氏が開発されたアプリ「バイオーム (Biome)」についてお話いただきました。スマートフォンに着目し自然環境をデジタル化する仕組みであり、撮影した生き物の名前をAIで判定し、現在、国内全種約93,000種類に対応しているとのことでした。収集されたデータは、地球温暖化の影響評価や、小学校でのICT教育、様々な団体と連携し活用されているとのことでした。

基調講演2では、京都産業大学 生命科学部 准教授 西田 貴明氏よりCOP15や愛知目標、ポスト愛知目標などの生物多様性に関する法整備の現状や、自治体と連携し、グリーンインフラによる防災・減災、地域活性化や流域治水を推進されている状況をお話しいただいた。また、上記アプリ「バイオーム」を大学生が使用し、構内で調査を実際に行う教育プログラムの様子を紹介いただきました。

後半のパネルディスカッションでは、最初に旭化成株式会社 守山製造所 環境安全部 渡邊 共則氏から、生物多様性びわ湖ネットワークが毎年開催されているトンボ100大作戦（今年度も実施中）について、ながはま森林マッチングセンター 森林環境保全員 橋本 勸氏からは、人と森が混ざる取組として開催されている様々なイベントについて紹介いただきました。その後、京都産業大学 経営学部 准教授でSGN研究会メンバーでもある宮永 健太郎氏のコーディネートにより、それぞれの事業や活動に関する意見交換が行われました。

参加者からは、「これまでとこれからの取り組みが整理され、必要な視点が認識できた。」「バイオームの活用の事例も興味深く、活動につなげるための導入としての調査が急がれている状況だと思う。」といった感想が寄せられました。



パネルディスカッションの様子



参加者の様子

研究会連携セミナー

「未来世代と考える『持続可能性×仕事』 ～CO₂ネットゼロ時代の事業経営のあり方とは」

●2022年3月16日(水) 開催 ●参加者：約40名

今回のセミナーでは、「未来世代」の若者たちと「働き世代」の企業人が「CO₂ネットゼロ」を切り口としてそれぞれ活動や企業紹介を行った後、意見交換を行いました。SDGs達成年度でCO₂ネットゼロ中間目標年度の2030年まであと8年となりましたが、その頃に中心となってマーケットを担い社会を動かしていくであろうZ（ゼット）世代は、デジタルネイティブであると同時に幼少時から環境学習を積み重ねており、現在の働き世代とは異なる価値観や指向を持っています。新たな価値観や行動様式を持つ彼らを理解することは、次の時代に市場の勝者となるために欠かせないとも言えます。

まず「未来世代からの活動報告」として、立命館大学3年生&(一社)インパクトラボ 理事 豊田 真彩氏・Fridays For Future Shiga 玉崎 蒔氏・くさつFarmers' Market 発起人 内田 修次氏・アインズ株式会社 企画チームfrau(フラウ) 寶田 萌花氏にそれぞれの活動についてお話いただきました。働き世代からは、周りを巻き込む共感をもって社会を変えて行こうとされている姿に驚いた、圧倒的な意識の高さとバイタリティを感じた、老兵は去らなければいけない、といった感想が聞かれました。

「働き世代からの企業紹介」では、株式会社滋賀銀行 サステナブル戦略室 室長 嶋崎 良伸氏・たねやグループ 経営本部 リーダー 木田 幸司氏・株式会社コクヨ工業滋賀 開発グループ 次長 岡田 佳美氏から各企業が苦勞しながら取り組んでおられる先進事例をお聞きました。

その後のディスカッション「未来世代と考える2050年CO₂ネットゼロ社会」では、くらのくらすの創造舎 主宰 南村 多津恵氏、(特非) 碧いびわ湖 代表理事でSGN 理事でもある村上 悟氏をコーディネーターに迎え、双方の世代での忌憚のない意見交換をしました。非常に良い対話が出来、時間が短かったという意見が多数聞かれました。



ディスカッションの様子



滋賀グリーン活動ネットワーク 「2022年度 事業計画書」

ミッションの位置付け

A. 事業者の環境行動の水準を高める	D. 未来に向けて活動を深める
B. 会員の想いと活動をつなげる	
C. 「未来よし」な暮らしを広める	

ビジョン	滋賀から「グリーン経済」をつくる ～ 子や孫の世代まで幸せや豊かさを実感できる「未来よし」な社会をつくる ～			
ミッション	A. 事業者の環境行動の水準を高める	B. 会員の想いと活動をつなげる	C. 「未来よし」な暮らしを広める	D. 未来に向けて活動を深める
事業名	実践促進事業	連携推進事業	暮らし方普及事業	企画広報事業
2022年度事業	1.グリーン購入+エシカルキャンペーン(事業者対象) 2.自治体のグリーン購入担当者連絡会議 3.GPプラン滋賀事業【県委託】 ①実践講座×6回 ②基礎研修会×4回 ③登録者ヒアリング・実践支援 ④ナイスハート購入制度PR等	1.グリーン経済フォーラム 2.食のグリーン購入研究会 3.ゼロエミッション研究会 4.エコ交通研究会 5.生物多様性と環境・CSR研究会 6.MORIと暮らしの研究会 他	1.いちおしグリーン商品リスト 2.自治体部会「買うならエコ!」リレー 3.啓発資材の作成・貸出 4.講師派遣事業 5.地域事業への出展・参加 6.グリーン購入+エシカル キャンペーン(消費者対象)	1.会員総会 2.会員情報交換会 3.新ビジョン策定 4.ニュースレター 2回発行 5.ホームページ随時更新 6.メルマガ・FAXリリース 12回発行 7.インターネット活用による活動方法に関する検討 8.会員紹介者の表彰等
	○CO ₂ ネットゼロ社会に向けたグリーン購入の側面からの取組を推進するため、会員の活動を一歩前に進めるキャンペーンを展開します。 ○県内全自治体の協働により滋賀からグリーン購入とCO ₂ ネットゼロに向けた取組を推進するために、取組の見える化を行います。 ○グリーン購入に取り組む中小企業者の登録制度「GPプラン滋賀」では、環境面に福祉面を加えた事業者のCSR行動を支援します。	○各研究会連携によるフォーラム開催を通して、CO ₂ ネットゼロ社会の実現に向けて、企業、行政、市民がなすべきことについて、グリーン購入に軸足を置いた、特にプラスチックや食品ロス削減についての普及啓発に繋がってまいります。 ○会員が主体的に企画・運営に関わる研究会は、会員の交流・連携の場でもあります。ぜひ、興味のある研究会に参加してください。新たなテーマの研究会をつくることも可能です。	○Web掲載をしている会員のお薦め商品リストについて、活用しやすい形で案内を検討します。 ○全自治体連携の啓発リレーを継続実施します。 ○大学や地域講座へ会員講師を派遣しますので、ご相談ください。 ○「グリーン購入+エシカル」な行動を広げるキャンペーンに、CO ₂ ネットゼロの視点をプラスした取組を、今年も県との連携をとりながら実施します。	○社会的状況から、会員総会は書面による表決をお願いしての開催とします。 ○会員情報交換会はハイブリッド開催を目指します。 ○2023年度からの新ビジョンの検討と策定を行います。 ○会員の取組紹介やエコトピックス等、グリーン購入情報満載のニュースレターを年2回お届けします。 ○Instagram等のSNSやZoomを活用した活動方法について、さらに検討を進めます。 ○新規会員を紹介してくださった会員の表彰等を行います。
担当部会	実践促進部会	連携推進部会	暮らし方普及部会	企画広報部会
中期目標 2020～ 2022年度	キャンペーン参加団体数 年間200団体を目指す	研究会事業への参加者 3年間で延べ500人以上とする	キャンペーン個人参加者 年間1万人以上を目指す	年1回以上活動に参加する会員を 3年間で70%に引き上げる

6月2日に開催された第10回定時会員総会にて承認された今年度の事業計画書です。今年度は3ヶ年計画の最終年。大きく変化する社会情勢も鑑みながら、企画広報部会で次年度以降のビジョンを検討中です。



2021年度中にご寄付をいただいた団体・個人の方々

- イオンベーカリー株式会社 様 (有料レジ袋収益金)
- 株式会社未来屋書店 様 (有料レジ袋収益金)
- 株式会社ダイフク 様
- 辻 博子 様
- イオンペット株式会社 様 (有料レジ袋収益金)
- イオンリテール株式会社 様 (有料レジ袋収益金)
- 株式会社メガスポーツ 様 (有料レジ袋収益金)

(ご寄付をいただいた日付順)

皆さま
ありがとうございます。
大切に使用させていただきました。



研究会 紹介

研究会はSGN会員有志によるグループ活動です。
メンバー同士での勉強会開催、セミナー企画・開催、見学会実施など自由に活動いただけます。
研究会連携により「グリーン経済フォーラム」の企画・開催など盛りだくさん。
今ある研究会へのご参加はもちろん、新たなテーマの研究会を立ち上げることもできます。(詳細は事務局まで)

「エコ交通研究会」

地球温暖化防止、社員の健康増進、公共交通の維持、まちづくりにもつながる、エコ活動・エコ交通を推進しています。
エコ交通研究会HP →



「食のグリーン購入研究会」

地元産、旬の食材、農薬や化学肥料の少ないものを選択する「食のグリーン購入」の推進と、食品ロスの削減等に取り組んでいます。

「生物多様性と環境・CSR研究会」

地球温暖化が生物の多様性の喪失につながることから、生物多様性の保全に関する理解促進と実践促進として、見学会やセミナーなど中小企業者にも無理なく取り組める事業企画等を行っています。

連携推進事業

「ゼロエミッション研究会」

産業廃棄物を減少し、資源として循環利用する取組を企業連携で進めています。特に現在は「プラスチックごみ」削減に向けての情報交換を行っています。

「MORIと暮らしの研究会」

琵琶湖を守るためには森を守る取組も重要です。森を健康に保つための間伐作業と間伐材の有効利用、更にはCO₂吸収を目指した森づくりなどの普及啓発等森と人がつながる仕組みづくりに取り組んでいます。

SGN正会員限定 チラシ同封サービスのご案内

チラシ同封サービスとは、SGNが会員あてに情報誌等を送付する際に、チラシを同封する有料のサービスです。

チラシ同封サービス3つのメリット

低コスト!

同封することにより、大きな費用対効果が見込めます!

※チラシの事務局への郵送料は依頼主のご負担となります。

訴求効果が高い!

グリーン購入や、環境配慮型商品・サービスへの関心が高いSGN会員へのPRが可能です。

開封率が高い!

SGN会員あての発送物に同封しますので、直接環境関連部門、経営層の方のお手元に届けることができます。

個別に郵送すると...

84円×460=38,640円
+宛名シール代 } 7,000円
+封筒代 } ~10,000円
+名簿作成代 }
合計 約48,000円!

■送付先 SGN会員460団体+α
内訳：企業 約380
行政 22 (滋賀県、県内市町を含む)
団体 約60
その他 約100カ所 (県地方事務所等)

■発送する時期
4~5月、8月、9月~12月、3月
※発送の無い場合もありますので、お早めにお問い合わせください。

値下げ 19,000円 (A4判1枚・税込20,900円)

■発送までの流れ

発送日の1週間前まで FAXにてお申込み → 申込書受理後 SGNより請求書発送 → 発送日の前々日まで ・利用料ご入金・チラシを事務局へ納入 → 発送日 SGN会員あて発送





グリーン購入実践プラン滋賀には [STEP1][STEP2]があるのをご存じですか？

グリーン購入の取り組みは、商品・サービスを購入する際に、環境への負荷ができるだけ小さいものを優先的に購入することで、循環型社会システムの構築において、極めて重要な鍵を握っています。

滋賀県では、このグリーン購入に取り組む事業者の裾野を広げ、さらに環境保全活動の促進を図ることを目的に、県内中小企業者の方を対象とした「グリーン購入実践プラン滋賀登録制度（GPプラン滋賀）」を運営しています。GPプラン滋賀に登録いただくと滋賀県の「グリーン入札」に優先参加が出来ます。

GPプラン滋賀登録対象者の条件について

申請者は、次に掲げる要件のすべてを満たしている事業者とします。

- (1) 県内に本店、支店、営業所等を有する方。
- (2) (1)のうち会社および個人にあっては中小企業者（中小企業基本法第2条第1項各号）等。
- (3) グリーン購入基礎研修会を受講した事業者であること。
- (4) 次のいずれかであること。

① 支援プログラムに参加可能な事業者

② 滋賀グリーン活動ネットワーク（SGN）に正会員として入会されている事業者 ※GPプラン滋賀の登録料は無料です。



GPプラン
滋賀

登録の種類について

[STEP1][STEP2]の2つのコースがあります。初回登録時は[STEP1]に登録していただきます。

[STEP1]に登録される方は、「支援プログラム参加登録（Aコース）」または、「SGN会員登録（Bコース）」のいずれかを選択してください。

[STEP1]に1年以上登録され、「STEP1自己評価チェックシート」の全項目をクリアされた方は[STEP2]にお進みいただけます。[STEP2]ではより多岐に渡り実践していただくことが可能です。例えば事業活動におけるグリーン調達（Aコース）や個別ヒアリング（A・Bコース共）など、更に深めていただくことが出来ます。ぜひGPプラン滋賀に登録し、[STEP2]にお進みください!

●GPプラン滋賀 STEP2登録事業者 25者

株式会社ウィードプランニング・ウッドワーク滋賀堤木工所・オフィストータル株式会社・有限会社キタガワ・木村文具・三協高圧株式会社・株式会社サンコー製作所・滋賀県広告美術協同組合・滋賀中央森林組合・株式会社シミズ事務機・株式会社ずぶ平・谷口印刷株式会社・中川テント株式会社・有限会社ハヤシ・株式会社ヒキタ事務機・株式会社ヒサダ昭栄堂・株式会社平柿文仙堂・有限会社ふるき・株式会社文昌堂・株式会社本庄・株式会社ボンズカンパニー・マルイ商事株式会社・株式会社ミナミイ・有限会社南商店・有限会社ゆたか商会

SGNでは、ただいま活動をご支援くださる「協賛バナー広告」を募集中です!

バナーはSGNホームページのトップページ左上に掲載させていただきます。

トップページへのバナー広告で、皆様の商品や取り組みをPRしながらSGNの活動をご支援ください。

【掲載期間】 6か月または12か月 【広告掲載料】 SGN会員価格 6ヶ月 60,000円（消費税別）

【申込締切】 原則として掲載開始日の1月前

バナー広告募集中

ごみゼロしが 滋賀県ごみ減量・資源化情報サイト



ごみゼロしがのサイトはご存じですか？

循環型社会の形成を目指して、3Rの取組と廃棄物の適正処理を推進する中で、リサイクル（再生利用）については進んできているが、リデュース（発生抑制）やリユース（再使用）についてもっと県民や事業者の皆さまに取り組んで欲しい!という願いを込めて作られた情報サイトです。ぜひアクセスしてください!



Relay Talk

SGN会員でつなぐ

リレートーク>>>

金勝生産森林組合

組合長理事 澤 幸司



当組合は地域の健全な森林管理の推進役として機能すべく、将来の木材生産戦略を描き、森林認証、J-クレジットの取得、さらには地元商工会や企業と連携して開かれた生産森林組合としてふるさとの山を未来につなぐ経営をめざして頑張っております。

しかしながら我が国の林業は長年の市況低迷により、不振を極めており、若者の林業離れも著しいものがあります。当組合では林業の成長可能性を模索すべく新しい取組に挑戦しています。

その一つに森林の持つ温室効果ガスの吸収機能を生かし平成29年3月にJ-クレジットを取得いたしました。J-クレジットはCO₂削減のための国の施策です。人類共通の課題である気候変動対策の取組が求められる中、当組合では森林系では滋賀県で初めて手掛け、企業の低炭素社会実行計画のカーボンオフセットとして、寄与しています。またこれは企業の持続可能な開発目標（SDGs）13「気候変動に具体的な対策を」に該当する活動に資するものであります。現在では22法人へ合計700t販売することができました。また、栗東市商工会との連携による「栗東きょうどう夢の森プロジェクト」にも取り組んでいます。地元企業が共同で地元の森林整備に資金提供を行い、低炭素社会形成と金勝地域の地域振興に貢献することを目標としています。具体的には商工会が会員企業から1口1万円（年額）を協賛してもらい、その証明としてCO₂吸収協力証を発行しています。協賛金の使途は当組合が実施する森林整備（間伐施業）にあてられ、太陽の射す光合成が盛んに行われる素晴らしい森林に変貌しています。森林は潤いのある環境を創ることはもちろん、災害から暮らしを守り、森林浴と言われる健康面での効果もあります。金勝の森をいかに整備し、当組合が掲げる「先進的かつ持続可能な森林経営」がこれからの生産森林組合の経営の在り方として定着していくことを願っております。

次回はオムロン株式会社 草津事業所さんをお願いします。



J-クレジット定期審査



企業様との協働作業



不法投棄回収クリーン作戦

金勝生産森林組合

滋賀県栗東市御園1614番地12

TEL&FAX : 077-558-0001

URL : <https://konze-forest.com>

新規会員から ひとつこと

2022年2月1日から2022年5月8日までの入会者
(団体名の50音順)



大津美工株式会社

代表取締役 若林 武彦

看板・サインの制作からイベント・催事の運営等を手掛けています。景観に配慮したデザインやリサイクル素材等に取り組み、SGNでは環境活動の動向や会員との学びに期待します。

現会員数：460 団体 [企業378、団体60、行政22] (2022年8月1日現在)

潮流

「三方よしと県民総参加でフードエコ」を理念に 食品ロス削減を推進しています!

滋賀県では、これまで、事業者、関係団体、学識経験者、国・県・市町等で構成される「滋賀県買い物ごみ・食品ロス削減推進協議会」において、関係者が連携協力を図りながら、近江商人たちが昔から大切にしていた売り手よし・買い手よし・世間よしの「三方よし」の精神をもとに、食品ロスを減らす県民運動「三方よし!!でフードエコプロジェクト」を立ち上げ、食品ロス削減への各種取組を推進してきたところです。

これまでの取組を活かしつつ、食品ロスの削減に向けた取組を一層推進するため「滋賀県食品ロス削減推進計画」を策定し、関係者が一丸となって、様々な取組の全県的な展開を目指しています。

～計画の内容～

- ①計画理念を『三方よしと県民総参加でフードエコ』とし、「売り手よし!」「買い手よし!」「環境よし!」の「三方よし」の精神のもと、県民総参加で「食品（フード）」の「環境保護への取組（エコ）」を実践していくこととします。
- ②2000年度比で2030年度までに食品ロスを半減させるSDGsの達成に向け、多様な主体が連携協力しながら取り組むことを目標とします。
- ③「知識や意識の向上と具体的な行動の実践」、「食品ロス発生量等の実態把握」、「未利用食品を有効活用する仕組みづくり」の3つを施策の方向性として定め、県の特性や現状を踏まえながら取組を推進します。

(滋賀県 琵琶湖環境部 循環社会推進課)

※計画の詳細は、滋賀県ホームページをご覧ください⇒



プロジェクトキャラクター
よっしーくん

マザーレイクゴールズに込めた思い

マザーレイクゴールズ (MLGs) は、「琵琶湖」を切り口とした2030年の持続可能社会へ向けた目標（ゴール）です。

MLGsはSDGsと見た目は似ていますが、その成り立ちは、SDGsが制定（2015年）されるより前、2011年にさかのぼります。

当時、滋賀県では2020年を目標年次とするマザーレイク21計画（琵琶湖総合保全整備計画）の中間見直しを行っており、2011年10月には県議会の議決を経て〈第2期改定版〉が定められました。

この第2期計画の取組の柱として、従来の「琵琶湖流域生態系の保全・再生」に「暮らしと湖の関わり再生」が追加されました。そして、多様な主体が参画し、計画の評価を行う場として「マザーレイクフォーラム」が設置されました。

その後、「パリ協定」なども参考にしつつ、10年間にわたるマザーレイクフォーラム・びわコミ会議参加者の「びわ湖との約束」をもとにワークショップを重ねて13のゴールを定め、昨年7月にスタートしたのがMLGsです。

6月29日現在、企業、個人合わせて1,249者の賛同をいただいています。多くの企業、団体の皆さまとのコラボ商品も発売され、6月25日には元フリースタイルスキー・モーグル日本代表の伊藤みきさんプロデュースの「MLGs体操」がお披露目されるなど、取組の輪は着実に広がっています。

私たちは、MLGsを通じて、琵琶湖の環境保全を呼びかけるだけでなく、琵琶湖という鏡に映し出される私たちの暮らしを持続可能にするにはどうすれば良いかを問い、みなさんとともに具体的な行動を通してその答えを探し続けていきたいと思

(滋賀県 琵琶湖環境部
琵琶湖保全再生課)

公式WEBサイト

マザーレイクゴールズ公式サイト「MLGs WEB」
<https://mlgs.shiga.jp/> MLGs WEB 検索



Mother Lake
Goals





会員発工コ商品情報

次号掲載
「エコ商品情報」
募集中!

滋賀県の木を使った 住まいづくり

ベストハウスネクスト株式会社

住まいの「省エネ」「高断熱化」で健康的な暮らしを提案しているベストハウスネクスト(株)です。寒い、暑い、光熱費が掛かる等、一人でも多くの方が生涯でも高価で長く使う「家」で失敗することなく本当の省エネ住宅を知ってもらい、エネルギー自給率の貢献することが私たちの願いです。

人生100年時代に一生、健康面と経済面で困ることなく健康で暮らしていける、そんな住まいづくりを目指しています。新築・リフォーム・古民家再生などお困りの時はお声掛けください。きっとお役に立てる事と思います。



〈お問合せ〉ベストハウスネクスト株式会社

滋賀県栗東市小野 1007-3
TEL : 077-552-6955 FAX : 077-552-6775
Email : yumeusa3@gmail.com
URL : <http://besthouse.cc/>

エコクリーン 洗濯用粉せっけん

滋賀県地域女性団体連合会

純石けん分70%、アルカリ剤以外の添加物は無し、廃食用油使用の洗濯用粉石けんです。びわ湖の石けん運動から、滋賀県と石けん技術開発協会が1992年に共同開発。その後、改良を重ねてきました。無香料、自然な風合いは、赤ちゃんにも安心して使って頂けます。お肌にも環境にもやさしい石けんです。

〈上手な使い方〉

- ① 洗濯を始める時に、衣料の上に粉石けんを直接パラパラと振り入れる
- ② 洗剤量は泡立ちを見て調節
- ③ 汗や汚れのひどい衣料は予洗いを
- ④ 温水(20~30℃)は洗浄力がアップ
- ⑤ すすぎは十分に ⑥ 柔軟剤は不要



〈お問合せ〉滋賀県地域女性団体連合会

TEL : 0748-37-3113 FAX : 0748-37-3636
Email : info@shigawoman.jp

～親子で楽しくSDGsを学ぼう～

絵本「Hello Kitty ぼくとわたしのSDGs ～世界のみんなと2030年を考えよう～」

アインズ株式会社

国連が2030年までに達成を目指す「貧困をなくそう」など17の目標を株式会社サンリオのハローキティと一緒に学ぶことができる絵本です。



表面加工には、「PP加工」の代替技術として「脱プラニス(当社独自開発)」加工を施し、プラスチックごみ削減に貢献しています。また、絵本内の仕掛けとして、太陽光で反応するソーラーインキも採用しています。オンラインショップ「KAMIHIME+ (<https://www.kamihime.jp/>)」にて販売中です。

絵本「Hello Kitty ぼくとわたしのSDGs～世界のみんなと2030年を考えよう～」(2,200円 税込)

〈お問合せ〉アインズ株式会社

滋賀県蒲生郡竜王町鏡 2291-3
TEL : 0748-58-8101 (代表)
担当 : 林田 頼将
E-mail : yori@shiga-web.or.jp
URL : <https://www.shiga-web.or.jp/eins>

編集後記

「新しい生活様式」になり早や3年が過ぎました。会議や研修もオンラインやハイブリッドが当たり前になり、出勤は出張扱いになる企業も出てきました。それでも対面で話した時に生まれる一体感や盛り上がりにはまだ及ばない気がします。まだまだ工夫の余地があるということですね。

それでもオンライン開催が当たり前になったおかげで、セミナーや研修会の敷居が低くなり、今までなら参加を躊躇っていた層の参加も見られるようになったのは嬉しい限りです。

コロナで混沌としていた世界情勢が、2月のロシアによるウクライナ侵攻で更に混迷の度を深めていると思います。今までは環境の話は平和が前提となっていたけれどももうそうではない、と先日企画広報部会で出た話です。我々も平和が前提でないエコ、を考えないといけないのだと強く思っています。

(事務局/竹ヶ原)



編集・発行 / 一般社団法人 滋賀グリーン活動ネットワーク

〒520-0807 滋賀県大津市松本1-2-1 大津合同庁舎6階

TEL:077-510-3585 FAX:077-510-3586

Eメール: sgpn@oregano.ocn.ne.jp URL: <https://www.shigagpn.gr.jp/>

